

ぱびるす

2015年 8 月号

編集／発行 苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRC苫小牧グループ
〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3丁目1番15号 ☎35-0511 Fax 35-0519 ✉info@tomakomai-lib.jp

中央図書館月間カレンダー 8月 【開館時間】 9:30~20:00

月	火	水	木	金	土	日
					1 ♪10:30~11:30 青空子どもとしよかん	2 ★15:00~15:30 よみきかせ会 ●13:30~15:37 ミニシアター
3 休館日	4	5	6	7	8 ☆11:00~11:30 よみきかせ会 ◇14:00~14:30 紙芝居	9 ○13:30~13:54 ミニシアター
10 休館日	11	12	13	14	15 ♪10:30~12:00 平和祈念講演会 ◆14:00~14:30 ストーリーテリング	16 ★15:00~15:30 よみきかせ会 ●13:30~15:08 ミニシアター
17 休館日	18	19	20	21 ♪10:30~11:30 赤ちゃんと楽しむ 絵本ひろば	22 ☆11:00~11:30 ☆14:00~14:30 よみきかせ会	23 ○13:30~14:00 ミニシアター
24 休館日	25	26	27	28 館内整理休館日	29 ♪13:30~15:30 大人も絵本を たのしもう！	30 ●13:30~14:58 ミニシアター
31 休館日	★ 苫小牧子どもの本の会 ☆ にじのはし ◆ おはなしオルゴール ◇ 紙芝居おじさん(会場：サンガーデン)					

※上映作品の詳細は4ページ目をご覧ください

【ミニシアターのご案内】

会場：2階講堂 時間：13:30~
入場無料・申込み不要

8月度の「赤ちゃんと楽しむ絵本ひろば」は7月28日(火)~2日(日)まで募集しています。

大人も絵本を楽しもう！

【大人に絵本ひろめ隊】の隊長「岡田達信」さんをお招きし、講演会を行います。大人だからこそわかる絵本の魅力に気づいてみませんか？

日時：8月29日 13:30~15:00

場所：苫小牧市立中央図書館2階講堂

定員：70名(先着順、整理券発行)

申込：8月1日(土)より受付開始



中央図書館カウンターまたはお電話にて受付 ☎0144-35-0511

第153回 芥川賞・直木賞が決定しました！

『火花』 又吉 直樹

芥川賞

1980年大阪府出身。よしもと所属のお笑い芸人。コンビ「ピース」として活動中。芸能活動の傍ら、「カキフライが無いなら来なかった」「鈴虫飯店」「まさかジープで来るとは」などといった作品を執筆している。憧れの人物は太宰治。

『スクラップ・アンド・ビルド』 羽田 圭介

1985年東京都出身。2003年、著者が高校生の時に「黒冷水」で第40回文藝賞を受賞。「不思議の国のペニス」「ワタクシハ」「隠し事」「メタモルフォシス」などといった作品を執筆している。過去に自転車で北海道まで走破した経験がある。

『流(りゅう)』 東山 彰良

直木賞

1968年台湾・台北市生まれ。2002年「タード・オン・ザ・ラン」で第1回「このミステリーがすごい！」大賞銀賞・読者賞を受賞。翌年、本作品を改題した「逃亡作法 TURD ON THE RUN」で作家デビュー。「ブラックライダー」「ラブコメの法則」といった作品も執筆している。映画版アニメ「劇場版NARUTO-ナルト- ブラッド・プリズン」(2011年)の脚本も手掛けている。

- ※『火花』『流(りゅう)』は書籍化されています。
- ※『スクラップ・アンド・ビルド』は、雑誌「文學界3月号」に掲載されています。
- ※『火花』はご予約多数本のため、準備にお時間がかかります。ご了承ください。

新刊おすすめ本

『幽霊塔』

江戸川 乱歩／著 宮崎駿／口絵
岩波書店 F1

大正のはじめ、幽霊塔と呼ばれるからくり時計塔を舞台にした、勇敢な青年北川光雄と謎に包まれた絶世の美女、野末秋子の怪奇浪漫譚。この美しい作品は初出が1937年、その後漫画化しているのでご存知の方も多いのではないのでしょうか？今回ジブリ作品でおなじみ、宮崎駿監督のカラー口絵が加わり新装版になりました！口絵では少年時代の「幽霊塔」との出会いや作品の背景、原作との違いなどがコミカルに描かれています。特に想像の幽霊塔は断面図も詳しく描かれており、小説を読みながら見返すと緻密に書き込まれた罫や仕掛けにわくわくします。「映画にするならこの位の方がイイと思う」「えいがつくる？」「えいがはつきりません」なんて掛け合いもありますが、これはぜひ監督に復帰して映画化して頂きたいですね♪実は100年間原作が不明だったという、謎に包まれたミステリーホラーは夏の夜にお勧め！江戸川乱歩ファンは勿論、宮崎駿ファンも必読の一冊です☆

児童新刊おすすめ本

『ありがとう実験動物たち』

太田 京子／著、笠井 憲雪／監修
岩波書店 487

できることなら深く知りたくない。そう思っている事の1つに、実験動物の存在がありました。胸が酷く痛むからです。ですが、この気持ちは、『ありがとう実験動物たち』という1冊をきっかけに変化しました。主人公はテルさん。動物実験施設で、動物が快適に過ごせるように工夫している女性です。動物を迎え入れた日から最後の別れの日まで、毎日世話をし続けています。私たち人間や動物の健康の増進、科学の発展の為に、実験動物は存在します。実験動物たちのお世話をしている一人の女性が、どんな風に動物たちに接しているのか。ページを開き、見てみて下さい。児童書ではありますが、性別年齢問わず、一人でも多くの人に出会ってほしい1冊です。心よりおすすめさせていただきます。

平和祈念講演「敗戦後70年」と現代社会

太平洋戦争が終わったのはいつでしょうか？世界的にはミズーリ号で日本が降伏宣言に調印した9月2日とされています。なのに日本では8月15日が「終戦記念日」になっています。この違いが意味するものは何か？「敗戦後」という視点を得て、特に、「健康」をめぐる問題について戦時と現代を比較して考えてみたいと思います。なにか重要なものが見えてくるかも・・・。(講師談)

日時：8月15日 10:00～12:00

場所：苫小牧市立中央図書館2階講堂

定員：70名(事前申し込み不要)

お問い合わせは中央図書館カウンターまたはお電話にて受付
☎0144-35-0511

ヤングアダルト

YA・洋書コーナーがリニューアルしました！

7月31日の館内整理休館日・・・・・・・・

ヤングアダルト(YA)コーナーと洋書コーナーの大移動が行われました！
今まで数学や化学、宇宙や地学関連の本が置かれていた⑦の棚がYAの棚に！
今までYAコーナーだった角っちょの棚が洋書の棚に変身いたしました～
と言っても文章ではわからないと思うので、中央図書館に来てお確かめください。



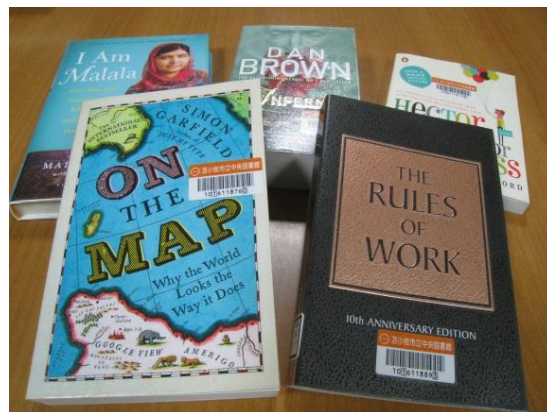
YAコーナーには、中学生・高校生のような子どもから大人への第一歩を踏み出す世代に向けての本が集められています。今度から月1回特集展示を行うことになりました。←こんな感じで今後もやっていきますので、かつて中高生だったあなたも！これから中高生になるキミも！ぜひどうぞ☆

洋書コーナーは今まで柱のカゲだった場所から、児童の英語の絵本や大人向けの小説も合わせて、

超拡大！！！！

こんな感じの新しい本もたくさん増えました！ ⇒

棚移動に伴って全集南側にお引越したシリーズ本などがあります。一般書は位置が以前とは変わっている場合がありますのでご注意ください！！



猫田の つぶやき



YAコーナーと洋書コーナーがお引越したのにゃん。YAはいままででは電撃文庫やコバルト文庫といったライトノベルがメインだったけど、一般書からYAへたくさんの本がクラスチェンジして増えたのにゃ☆中には一般書よりもわかりやすいYAの本もあるのにゃ。意外とあなどれないのにゃん☆洋書コーナーはいままで柱の影になって目立たなかったけど、大移動でとってもしっかりやすくなったのにゃん。書いてあることは難しくても、見ても楽しめる洋書がいっぱいあって面白いにゃん。ぜひ足を運んでほしいのにゃん♪

展示 みなさんにおすすめしたい本や資料を展示しています

ガラス展示・検索機横展示『平和祈念旬間展示』



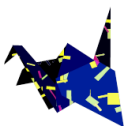
1階・2階ガラス展示では『戦後70年をたどる「戦争と平和」』をテーマに展示を行っています。当時の新聞記事を軸に郷土（苫小牧、北海道）資料やほか戦争・平和に関する資料を展示しております。検索機横の展示コーナーの本は貸出可能です。
期間は8/1（土）～27（木）、ぜひ多くの方に見て、手に取っていただければ嬉しいです。

新刊棚横展示「あの白球を追う夏」



白熱！熱闘！かっとなげ！ホームラン！今年も高校球児の暑い夏の甲子園！第97回高校野球選手権大会が始まりますよ！8月6日の開会式からテレビにかじりつく日々が始まりますが、その合間に野球の本などがいかがでしょう？少年野球、高校野球、プロやメジャーに草野球まで。懐かしの名選手の本・ミステリーや青春小説などなどお楽しみください！

児童展示「自由研究／戦争と平和」



先月から引続き自由研究にぴったりの本の展示を行っています。読書感想文の書き方は？ペットボトルを使って何か作りたい！チョコレートで実験はできないかな？粘土でいろんなものを作りたい～！そんな皆様の声にお応えできますよう、たくさん本を集めております。どうぞ図書館入ってすぐ左手の棚にご注目下さい。楽しい自由研究ライフを！また、児童カウンターすぐそばの丸テーブルでは、戦争と平和に関する児童書を展示中です。毎年大人の方にもご好評を頂いております。70年前に何が起こったのか。手に取ってみて下さい。

巻末コラム - 風立ちぬ、いざ生きめやも -

堀辰雄の著作「風立ちぬ」に使われている、フランス語の一文を紹介したいと思う。
“*Le vent se lève, il faut tenter de vivre.*” これはフランスの作家ポール・ヴァレリーの詩「海辺の墓地」の一節で、堀辰雄はこれを「風立ちぬ、いざ生きめやも」と訳し、作中で使用している。2013年に上映されていた同名のスタジオジブリ作品では、東京へ向かう列車の中で、主人公の堀越次郎が「風が立った、生きようと試みなければならぬ」と言っている（この直後に関東大震災が起こる）。ただ単に「生きねば」であれば“*il faut de vivre.*”でいいのだが、“*tenter (試みる)*”が入ることで『覚悟』にも似た力強さが増すのである。これを踏まえながら、「風立ちぬ」を読んでもみると、主人公らにとっての「生きること」とはなんなのか。そして、「いざ生きめやも」と著者が訳した意味を深く理解できるはずである。



図書館ミニシアター



8月2日 127分

『リアル ～完全なる首長竜の日～』(邦画)

漫画家の淳美は、1年前自殺未遂で昏睡状態に陥った。恋人の浩市は、淳美を目覚めさせるため〈センシング〉という最新医療によって彼女の意識の中へ入っていく。だが、意識の中の淳美は首長竜の絵を探してと頼む。

8月16日 149分

『ダ・ヴィンチコード』(洋画)

ルーブル美術館で殺された館長の周りに残された暗号。容疑者として現場に連れてこられたラングドン、館長の孫娘で暗号解読者のソフィーに助け出される。ふたりは暗号の謎を解き始めるが、そこには驚愕の事実が…!

8月30日 154分

『スタンド・バイ・ミー』(洋画)

作家のゴードン・ラチャンスはある日『弁護士クリストファー・チェンバース刺殺される』という新聞記事に目をとめ、少年だった頃をふと思い起こす。殺されたクリスはゴードンの少年時代の親友だった。人気作家スティーブン・キングが原作。

8月9日 34分

『夏服の少女たち』(平和祈念アニメ)

原爆によって命を奪われた13歳の少女たちのつかの間の青春の日々を描いたアニメーションと、ボロボロになった少女たちの夏服を形見として持つ遺族たちの深い悲しみをドキュメンタリーで収録した作品です。

8月23日 30分

『のっぺらぼう・絵からとびだしたねこ』(アニメ)

日本のこわいむかし話がアニメDVDになりました。誰もが知っている「のっぺらぼう」と、絵が好きないちねんさんのお話「絵からとびだしたねこ」を上映します。